



31年2月7日

南相馬市議会議長

会派名 友和会

代表者氏名 中川 庄一



調査研究報告書

1 期間 31年2月4日（月）～31年2月5日（火）

2 参加者 ① 細田 廣 ② 田中 一正
③ 菊地 洋一 ④ 大場 裕朗
⑤ 中川 庄一 ⑥

3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容について

研修先 衆議院第一議員会館 918 会議室

研修事項 ①地域医療 ②ほ場整備 ③除染土壌再利用
④スマートインター

2月4日 13:00～14:00

① 看取りについて

厚労省医師確保等地域医療対策室長 松岡輝昌氏より説明

少子高齢化時代を迎えた中、人はどこで死を迎えるのか看取られるのか。

国は地域包括ケアシステムを構築し、在宅で看取られる体制を作り上げることが必要としている。

小高病院の今後についての質問に、「(詳細を把握してはいないが) 有床診療所を視野に入れて検討しては」の回答。

2月5日 9:00～9:50

② ほ場整備にかかわる予算措置

農水省 農村振興局農地資源課事業推進企画官 山岸雄一氏

農村振興局防災課福島復旧班課長補佐 古田栄次氏より説明

ほ場整備事業の各事業内容について説明。

南相馬市鹿島区のほ場整備事業の取り組みについて状況説明し質問。

ほ場整備事業メニューの中で農家負担割合の少ない事業へ取組誘導の回答を受ける。

2月5日 10:00～10:50

③ 除去土壌再利用実証事業について

環境省 環境再生事業担当参事官 新田 晃氏

環境再生施設整備担当参事官補佐 山田浩司氏より説明

昨年12月に説明を受けた実証事業について改めて説明。

市民に納得を得るためにもう一段濃度を下げる手立てができないか質問。

費用が高むことから現時点では考えていない回答。

同席した亀岡代議士よりこれでは理解を得られないと上司に強く進言することを強く要請。新たな手立てを考えること要請。

2月5日 11:00～11:50

④ スマートインターチェンジについて

国交省 道路局長 池田豊人氏

環境安全・防災課長 野田 勝氏

高速道路課長 山本 巧氏

高速道路課有料道路利用促進係長 金清翔平氏より説明

常磐自動車道南相馬 IC へのアクセス道路計画について説明。

スマートインターチェンジの概要、整備計画、設置後の効果等の説明から、
(仮称)小高スマートインターチェンジの整備計画の説明。

24時間運用、予算、完成時期、取り付けの考え方等について質問。

各項目について回答。早期実現を要請する。